

各務原市地域福祉に関するアンケート調査 ご協力をお願い

皆様には、日頃より福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケート調査は、市と社会福祉協議会の「第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和7年度～11年度）」の策定に先立ち、日頃から地域において活動されている民生委員・児童委員の皆様へ、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関するご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として使わせていただくために実施します。

働き手の不足や 8050 問題、複数の福祉分野にまたがるケースや、逆にどの福祉サービスにもあてはまらないケースなど、新しい課題が出てきていますので、普段、皆さんが活動されている中で感じられる課題や率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のところお手数をおかけしますが、今後の福祉の取組みについて皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年10月

各務原市長 浅野 健司

各務原市社会福祉協議会 会長 紙谷 清

ご回答に当たってのお願い

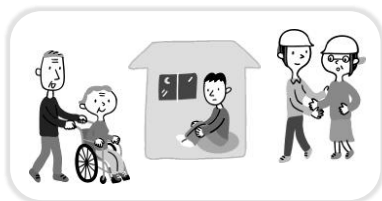
- ◇ ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
- ◇ ご回答は、あてはまる選択肢の番号を選び、その番号に○をつけてください。
また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
- ◇ このアンケートは無記名で行い、調査結果は統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。
- ◇ ご記入いただいた調査票は、11月の地区民児協議会にて、回収いたします。
- ◇ 調査についてのご質問などは、下記担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

各務原市役所 健康福祉部福祉政策課 担当：安田、本山 電話 058-383-1127（直通）

■ 地域福祉とは？

同じ地域に暮らすみんなで互いに支え合い、子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、「誰もが自分らしく、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくっていくこと」を言います。その実現のためには、地域の力を活用しながらまちづくりを進めることが大切です。地域の課題解決に向け、住民、福祉施設や団体、企業や商店、行政などのみんなで協力し合い、支え合っていく地域共生社会を目指します。



複雑化する地域課題



ひとりの力では解決できない！



みんなで協力して解決！

問1 性別（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答（答えたくない） |
|-------|-------|----------------|

問2 あなたの令和5年10月1日現在の年齢をお答えください。（○は1つだけ）

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 | |

問3 あなたのお住まいは、どの校区にありますか。※校区がわからない方は町名を記入（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 那加第一小学校 | 2. 那加第二小学校 | 3. 那加第三小学校 |
| 4. 尾崎小学校 | 5. 稲羽西小学校 | 6. 稲羽東小学校 |
| 7. 川島小学校 | 8. 鵜沼第一小学校 | 9. 鵜沼第二小学校 |
| 10. 鵜沼第三小学校 | 11. 緑苑小学校 | 12. 八木山小学校 |
| 13. 陵南小学校 | 14. 各務小学校 | 15. 蘇原第一小学校 |
| 16. 蘇原第二小学校 | 17. 中央小学校 | |
| 18. わからない（ | 町 | 丁目） |

問4 あなたの各務原市での通算住居年数を教えてください。※旧川島町での居住年数含む（○は1つだけ）

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 6年以上10年未満 |
| 4. 11年以上20年未満 | 5. 21年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問5 民生委員・児童委員の現在の通算の任期を教えてください。（○は1つだけ）

- | | |
|--------|---------|
| 1. 1期目 | 2. 2期目 |
| 3. 3期目 | 4. 4期以上 |

問6 相談を受ける主なきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 自らの訪問や連絡 | 2. 本人や家族からの相談 |
| 3. 知人や自治会など地域の人からの連絡 | 4. 市からの依頼・連絡 |
| 5. 社会福祉協議会からの連絡 | 6. 幼稚園・保育園・学校等からの連絡 |
| 7. 地域包括支援センター（高齢者相談窓口）からの連絡 | |
| 8. 基幹相談支援センター（障がい児・者相談窓口）からの連絡 | |
| 9. 母子健康包括支援センター（子育て相談窓口）からの連絡 | |
| 10. その他（ | ） |

問7 あなたが受けた相談は、主にどの関係機関に引き継ぎましたか。(〇はいくつでも)

1. 市	2. 社会福祉協議会
3. 地域包括支援センター（高齢者）	4. 基幹相談支援センター（障がい児・者）
5. 母子健康包括支援センター（子育て）	6. 幼稚園・保育園・学校等
7. 警察署・消防署	8. 保健所
9. 自治会	10. 引き継いだことはない
11. その他（	）

問8 いくつかの対象が重なって解決を困難にしている事例が報告されています。活動を通して経験した対応が難しいと感じる対象の組み合わせを選び、その具体的な内容をご記入ください。(自由記述)

1 子ども・子育て（居場所、ヤングケアラー含む）
2 障がい児・者（医療的ケア児、発達障害を含む）
3 高齢者（認知症、見守り等）
4 外国人市民
5 生活困窮（就労、ニート・ひきこもり等）
6 住居・住環境に関する事（ごみ屋敷等）
7 その他（



項目番号を記入（複数回答可）

解決が難しかった課題の対象	具体的事例の内容
<記入例> 2、3	高齢の親で介護が必要だが、障がいのある子どもの世話もしており、双方への支援が必要となっている。

問9 民生委員・児童委員の活動の中で、どのような悩みや苦勞を感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 相談者本人との関わり方	2. 地域の人や行政等からの情報が少ない
3. 制度の仕組みが難しい	4. どこに相談したら良いか分からない
5. 会議や研修、活動に伴う事務処理が多い	6. 自治会や地域の行事などへの参加が少ない
7. 状況確認をする世帯が多い	8. 本人やその家族が協力してくれない
9. 特にない	
10. その他（	）

問 10 あなたの担当地域では、地域のつながりが強いですか。(○は1つだけ)

1. 近所づきあいが多く、日頃から助け合っている
2. 近所づきあいがあり、定期的に地域活動を行っている
3. 会えばあいさつをする程度で、地域活動は活発ではない
4. ほとんど地域での関わりはなく、つながりは強くない
5. その他 ()

問 11 あなたの担当地域では、住民による支え合い活動を進めるにあたっての課題はありますか。(○はいくつでも)

1. 活動のリーダーがない
2. 地域福祉活動に関わる人が少ない
3. 近所づきあいが少ない
4. 地域福祉に無関心な人が多い
5. 活動について相談できるところがない
6. 活動がマンネリ化している
7. 活動に必要な情報が得られない
8. 困っている人がどこにいるかわからない
9. 個人情報の取り扱い
10. 地域活動への若い人の参加が少ない
11. 活動範囲が広すぎる
12. 活動範囲が狭すぎる
13. 団体・組織間の連携が乏しい
14. 特に課題はない
15. その他 ()

問 12 問 11 で回答した課題について、具体的な事例を記載ください。(特に重要と感じるもの)

問 13 あなたの担当地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。(○はいくつでも)

1. ひとり暮らしの高齢者
2. 高齢者のみの世帯
3. 認知症の人
4. 障がいのある人
5. ひとり親家庭
6. 子育て中の家庭
7. 高齢者や障がい者を介護している人
8. 不登校、ひきこもり
9. 低所得者
10. 外国人市民
11. その他 ()

問 14 問 13 で回答した対象者の支援に向けた地域の支え合いを推進するために、必要なことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 先進的な活動事例の紹介 | 2. 専門性を持った人材、団体の派遣 |
| 3. 情報発信に関する支援 | 4. 団体や組織間の連携に関する支援 |
| 5. 活動の担い手となる人材育成 | 6. 活動費などの経済的な支援 |
| 7. 活動場所の確保に関する支援 | 8. 活動について相談できる機会の充実 |
| 9. 広く市民に対する地域福祉の啓発 | 10. 特に支援を要する人の情報提供 |
| 11. その他 (|) |

問 15 あなたは、ここ5年間で、地域福祉が進んだと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. とても進んだと思う | 2. まあまあ進んだと思う |
| 3. 変わらないと思う | 4. あまり進んでいないと思う |
| 5. 進んでいないと思う | 6. 分からない |

問 15 で「1. とても進んだと思う」「2. まあまあ進んだと思う」と答えた方にお聞きします。

問 15-1 進んだと思う具体的な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 地域活動の担い手が増えた | 2. 地域活動が活発になった |
| 3. 福祉に関する市民の意識が高まった | 4. 相談できる場が確保された |
| 5. 福祉に関する情報提供が充実した | 6. 行政や社協の支援体制が充実した |
| 7. リーダー等の人材が育成された | 8. 団体間のネットワーク化や連携が進んだ |
| 9. 活動拠点が充実した | 10. 施設のバリアフリー化が進んだ |
| 11. 災害時要援護者対策が進んだ | |
| 12. その他 (|) |

問 16 市民の要望で多いものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 子育てへの支援 | 2. 青少年の健全育成 |
| 3. 高齢者への支援 | 4. 障がいのある人への支援 |
| 5. 生活困窮者への支援 | 6. ひきこもり・不登校への支援 |
| 7. 虐待に関する支援 | 8. 空き家・ごみ屋敷などの生活環境 |
| 9. 防犯、防災 | 10. 災害時要援護者への支援 |
| 11. 福祉教育の充実 | 12. 認知症高齢者・障がい者等の権利擁護 |
| 13. 地域交流拠点の整備・活用 | 14. 身近な相談窓口の設置・活用 |
| 15. 就労に関する支援 | 16. 外出する際の付き添い |
| 17. その他 (|) |

問 17 問 16 の回答について具体的にどのような要望がありますか。(記述)

問 18 近年、福祉制度の大きな変化がみられますが、情報が不足している、もっと知っておきたいと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 介護保険サービスについて | 2. 地域包括支援センターについて |
| 3. フレイル予防について | 4. 障害福祉サービスについて |
| 5. 地域生活支援事業について | 6. 障がいのある人への虐待防止について |
| 7. 子育て支援について | 8. 児童への虐待防止について |
| 9. 高齢者への虐待防止について | 10. 権利擁護について(成年後見制度等) |
| 11. 災害時要援護者について | 12. 生活困窮者自立支援制度について |
| 13. 行政の各種相談窓口について | 14. ひきこもり支援について |
| 15. その他 (|) |

※地域生活支援事業：障がいのある人等が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、住民に最も身近な市町村を中心として実施される事業。地域の実情に応じた柔軟な事業形態での実施が可能となるよう、自治体の創意工夫により事業の詳細を決定し、効率的・効果的な取り組みを行っています。

※成年後見制度：契約の締結等を代わりに行う代理人などを選任したり、本人が誤った判断に基づいて契約を締結した場合、それを取り消すことができるようにするなど、知的障がい、精神障がい、認知症等により、判断能力が不十分な成年者を保護するための制度です。

※フレイル：医学用語である「frailty (フレイルティー)」の日本語訳で、病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。

問 19 あなたの担当地域で、行うべき支え合いの活動や取り組みは何があると思いますか。
(○はいくつでも)

1. となり近所の住民同士の普段からのつきあい
2. 祭りやイベントなどを通じた住民同士の交流
3. 地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり
4. ひとり暮らし高齢者などへの見守り活動
5. 防犯対策・交通安全対策の確立
6. 子どもたちの見守りや相談受付など、子育てを通じた交流
7. 災害などに備えた地域での協力体制づくり
8. 災害時要援護者の把握と対応
9. 通院や買い物など交通手段の確保
10. 地域で気軽に集える場の整備・活用（ボランティアハウスなど）
11. 地域での困りごとに関する相談窓口の確保
12. ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、子どもなどへの情報提供や相談
13. 地域活動を行う人材の確保・育成
14. 特にない
15. その他（)

問 20 避難行動要支援者支援制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は聞いたことはあるが内容はわからない
3. 名前も内容も知らない

※避難行動要支援者支援制度：災害時の避難行動に何らかの支援を要する人（避難行動要支援者）の名簿を作成し、本人同意のもと、市が地域へ名簿を提供することにより、身近な地域の中で避難支援が行われるしくみのことです。

問 21 あなたがお住まいの地域では、災害時に支援が必要な人の情報をどのように活用していますか。(○はいくつでも)

- 1 自治会の防災訓練に活用している
- 2 災害時に支援が必要な人の詳細な情報を地図に書き込み、いつでも活用できるようにしている
- 3 災害時に支援が必要な人の様子を定期的に確認するのに活用している
- 4 地区民協等で、災害時に支援が必要な人の状況について役員間で情報を共有している
- 5 災害時に支援が必要な人の状況について自治会長との間で情報を共有している
- 6 特に活用していない
- 7 その他（)

問 21 で「1. 自治会の防災訓練に活用している」「2. 災害時に支援が必要な人の情報を地図に落とし込み、いつでも活用できるようにしている」と答えられた方にお聞きします。

問 21-1 どのように活用していますか。具体的な活用方法を自由にお書きください。
(自由記述)

問 22 再犯防止推進法についてご存じですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前は聞いたことはあるが内容はわからない |
| 3. 名前も内容も知らない | |

※成年後見制度：平成 28 年に公布・施行された「再犯の防止等の推進に関する法律」の略称。犯罪や非行をした者等が再び犯罪や非行をすることを防止するための基本となる事項について定めた法律のことです。

問 23 再犯防止を推進するにあたって、どのような取り組みが必要だと思いませんか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 犯罪特性に応じた指導及び支援等 | 2. 就労の支援 |
| 3. 非行少年等に対する支援 | 4. 就業の機会の確保 |
| 5. 住居の確保 | 6. 更生保護施設に対する援助 |
| 7. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供 | 8. 再犯防止関係施設や体制の整備 |
| 9. 住民の理解の増進 | 10. 民間支援団体への援助 |
| 11. その他 () | |
| 12. わからない | |

問 24 地域活動の中で、連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 自治会 | 2. 近隣ケアグループ |
| 3. ボランティア、NPO、福祉活動団体 | 4. シニアクラブ |
| 5. 子ども会・親子サロン | 6. 自主防災組織 |
| 7. 福祉施設・福祉サービス事業所 | 8. ボランティアハウス |
| 9. 地域包括支援センター | 10. 子ども館 |
| 11. 保育園・幼稚園・学校 | 12. 社会福祉協議会 |
| 13. 市 | 14. 岐阜県 |
| 15. その他 () | |
| 16. 連携はない | |

問 24 で「1」～「15」(連携している)と回答した方にお聞きします。

問 24-1 他の組織・団体との連携でどのような取り組みを行っていますか。

問 25 今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 自治会 | 2. 近隣ケアグループ |
| 3. ボランティア、NPO、福祉活動団体 | 4. シニアクラブ |
| 5. 子ども会・親子サロン | 6. 自主防災組織 |
| 7. 福祉施設・福祉サービス事業所 | 8. ボランティアハウス |
| 9. 地域包括支援センター | 10. 子ども館 |
| 11. 保育園・幼稚園・学校 | 12. 社会福祉協議会 |
| 13. 市 | 14. 岐阜県 |
| 15. その他 () | |
| 16. 特にない | |

問 25 で「1」～「15」(連携したい団体がある)と回答した方にお聞きします。

問 25-1 選択した連携先とどのようなことに取り組みたいですか。

問 26 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 組織・団体の人と出会う機会がない
2. 組織・団体に、連携の必要性を理解してもらえない
3. 組織・団体に、民生委員・児童委員の活動を十分に理解してもらえない
4. 組織・団体が多忙で協力してもらえない
5. 組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえる人がいない
6. 地区内にその組織・団体がない
7. 自分自身が多忙で連携まで手が回らない
8. その他 ()
9. 特にない |
|---|

問 27 社会福祉協議会との連携では、どのようなことが必要だと思えますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. お互いの活動内容を理解する機会を持つ
2. 情報交換や連絡を十分に行う
3. 民生委員を対象とした研修会の開催
4. 地区社協を通じた連携
5. 守秘義務が守られる
6. その他 ()
7. 特にない |
|--|

問 28 各務原市では地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、さまざまな取り組みを行っています。評価・検証をするため、地域福祉に関する取り組みについて満足度と重要度をお答えください。回答例にならい、“満足度”と“重要度”のそれぞれについて、今のお気持ちに一番近い答えの番号(1～4)を1つ選び、○で囲んでください。

	満足度				重要度			
	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない
例) 地域福祉に対する意識の醸成	1	2	③	4	①	2	3	4
① 支え合う意識づくり 全市的な福祉教育の推進／心のバリアフリーの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
② 活動の担い手づくり ボランティア活動への参加促進／福祉活動にかかわる人材及びリーダーの育成	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 多様な主体の参画促進 高齢者や障がいのある人などの社会参加支援、活躍の場づくり支援／若い世代の参加促進	1	2	3	4	1	2	3	4

	満足度				重要度			
	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない
④ 地域活動の促進 地域交流、世代間交流の促進／地域の福祉活動の場づくり／地域づくりの支援体制整備	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 認知症対策の推進 地域で認知症の方やその家族を支援する体制の整備／早期診断・早期対応に向けた支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 身近な地域での見守り、声かけの推進 地域での見守り・助けあいの推進／近隣ケアグループ活動の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 防災対策の推進 地域の防災活動の促進／災害時の要配慮者への支援体制づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 防犯活動の推進 防犯体制の充実／自主的な地域防犯活動の支援／消費者被害対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 福祉情報の発信 福祉に関する情報提供の充実／情報バリアフリーの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 相談支援の充実 ライフステージに応じた相談支援体制の充実／各分野の相談窓口間の連携	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 各福祉分野におけるサービスの充実 福祉サービスの充実・適切な利用促進	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 日常的なことや移動に関する支援 日常生活支援の促進／移動支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 権利擁護の充実 成年後見制度の周知・利用促進／市民後見人の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 生活に困っている人への支援 生活困窮者への包括的な自立支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮ 制度のはざまにいる人への支援 社会復帰をめざす人への支援の充実／複合的な課題を持つ人を支える地域のネットワークづくり	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯ 配慮を必要とする子どもや家庭への支援 ひとり親家庭や経済的な問題等を抱える家庭への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰ 地域組織・団体の活動支援 各団体の情報提供の推進／地域活動団体が活動しやすいしくみづくり／団体間の情報共有と連携のしくみづくり	1	2	3	4	1	2	3	4

